

令和8年度 採択プロジェクト

【別紙】

※赤字：スタートアップ企業

テーマ

環境改善

再生可能エネルギー

資源循環

概要

海水中からCO₂を直接回収し、
資源として有効活用

港湾エリアで海水から水素製造・
水素コストの削減

公園・緑地の剪定枝を炭化装置により
バイオ炭として再利用

事業者

清水建設株式会社（代表）、
Green Carbon株式会社、
国立研究開発法人海洋研究開発機構

株式会社上組（代表）、
株式会社pHydrogen

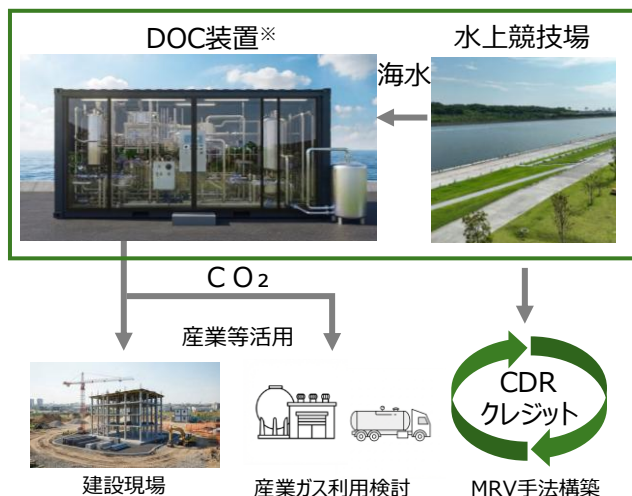
株式会社日比谷アメニス（代表）、
株式会社未来創造部、国立研究開発法人
産業技術総合研究所、株式会社グローバル、
ビルマテル株式会社

内容

R9: 中央防波堤エリア 海水からのCO₂回収
R10: 建設現場 CO₂でアルカリ排水を中和
→効率よくCO₂を回収し、産業等の場で活用

R9: 中央防波堤エリア 海水電解システムの設置
R10: 上組敷地内 海水電解システムの設置
→淡水化せず水素製造。グリーンエネルギーの地産地消

R9: 海の森公園内の剪定枝活用
R10: 資材製造会社へ拡大
→剪定枝を資源化。CO₂を100年以上貯留



※Direct Ocean Capture

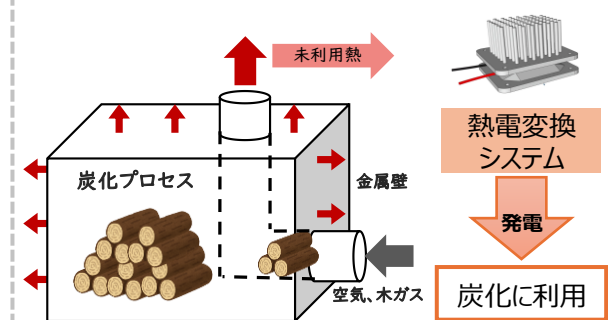
オンサイト海水電解システム



海の森水素ステーション
(R9.4 開始予定)



港湾施設水素モビリティ



剪定枝炭化 CO₂貯留・土壌改良 植物の成長促進

※スケジュール、実施場所については事業者による企画提案時点の予定となります。また、上記の画像・イラストはイメージです。